

ハマボウフウ

校訓 英知(かしこく) 友愛(やさしく) 健全(たくましく)



令和6年1月30日号

学校教育目標 未来を創造し、生き抜く力を身に付け、「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成

「10才のちかい」

1月19日(金)、1年生から3年生も参加する「10才のちかい」が体育館で行われました。

保護者の皆さまも見守る厳かな雰囲気の中、4年生一人一人が将来の夢や家族への感謝の気持ちなどを、「わたしのちかい」として堂々と発表しました。1年生から3年生も静かに、そして真剣な表情で4年生の発表を聞くことができました。

「みなさんへのメッセージ」では、4年生の子供たち全員で、次のような言葉を伝えました。(一部抜粋)

ぼくたちは、たくさんの人に支えられて、ここまで成長してきました。

地域の方の存在が、ぼくたちの可能性をたくさん増やしてくれました。

学校では、先生方や友達に支えられ、いろいろなことを乗り越えながら、この4年間を過ごしてきました。

お父さん、お母さん、家族のみんな。生まれてから10年間、育ててくれてありがとう。いつもそばにいてくれたから、大事に育ててくれたから、こんなに成長することができました。

これからは、自分が誰かを助けられるように頑張ります。



「みなさんへのメッセージ」後に全体で歌った校歌は体育館いっぱいに歌声が響き渡りました。4年生からの思いを、前期部の子供たちがきちんと受け止めた証拠だと思えます。前期部の子供たちの成長を感じた「10才のちかい」となりました。

「立志式」

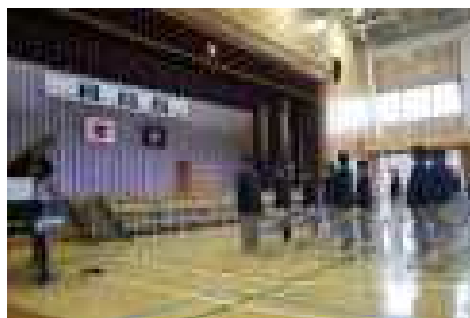
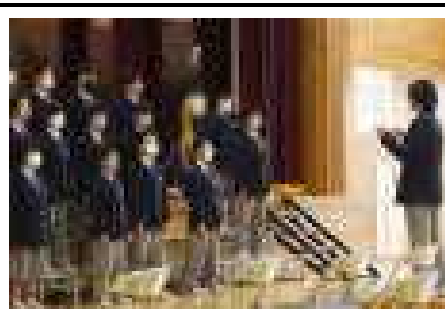
1月26日(金)、7年生の「立志式」が行われました。5・6年生が見守る中、7年生が中期部リーダーとして堂々と「私の決意」を述べることができました。また、7年生代表として永沼天音さんが「立志の言葉」を述べました。(一部抜粋)

来年度、6年生の皆さんは、中期部の最高学年になります。中期部のリーダーとしてできることに精一杯励んでください。5年生の皆さんは、中期部の中堅学年として7年生を支え、5年生をサポートする立場になります。自分にできることに取り組み、力を伸ばしてください。

いつも近くで支えてくれる家族へ。これまで、どんなことがあっても温かく見守ってくれました。素直になれずに反抗的な態度を取ることもある私たちを、いつも優しく、愛情を持って育ててくれたことに感謝しています。これからも、もっと成長していきたいと思えます。私たちのことを見守ってください。

いよいよ私たちが後期部の一員となる日が近づいてきています。後期部では学校のリーダーとして9年生とともに活動していきます。部活動やたてわり活動などで先頭に立ち、私たちを導いてくださった先輩たちに近づけるように、これから一生懸命努力し、日々精進していきたいと思えます。

今日この立志式で発表したそれぞれの決意と、周りの方々への感謝の気持ちを胸に、新しい道を切り拓いていきます。辛いつきもあきらめず、夢に向かって精一杯歩んでいきます。





2月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
				1 安全点検日 私立高入試	2 全校5校時限	3
4	5 Bタイム SC 委員会活動	6 朝会	7 新1年生・新7年生入学説明会	8 臨時時程 2学期未定期テスト①(7~9年)	9 臨時時程 2学期未定期テスト②(5~9年) 4年ソフトバレーフェスタ 1~4年防災講話	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13 SSW 5~7年防災講話	14 SC 6年長期研修出前授業	15 8・9年防災講話	16 Bタイム 授業参観 学年懇談会 PTA常任委員会19:00	17
18	19 SC	20 児童生徒集会 2-1校外学習	21 Bタイム	22	23 天皇誕生日	24
25	26 SC	27 2-2校外学習	28 全校5校時限	29		

「能登半島沖地震支援募金」へのご協力

ありがとうございました

能登半島沖での地震被害に対して、児童生徒から「何か力になりたい」「募金をしたい」とのたくさんの意見が学校の意見箱に寄せられました。そこで、児童生徒会で話し合いを行い、児童生徒集会で呼びかけをし、1月16日（火）から22日（月）までの一週間、募金活動を行いました。朝は昇降口、昼休みは職員室前を中心とした校舎内での募金活動により、「129,210円」集まり、山田市長に届けました。

児童生徒の皆さん、保護者の皆さまのおかげです。

ご協力、本当にありがとうございました。

今回集まった募金は、能登半島沖地震で被害を受けた地域に届けられます。能登半島の一日も早い復興を心から願っています。



大谷選手から「グローブ」が寄贈されました



先日、メジャーリーガーの大谷翔平選手から、本校に野球グローブ3つが寄贈されました。

添えられていた手紙には、「この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」と書かれてありました。

大谷選手からの思いを大切に、子供たちの学習活動の中で、大切に使用させていただきたいと思っております。